



永平寺町社会福祉協議会だより

編集発行／社会福祉法人永平寺町社会福祉協議会
<http://www.eiheijishakyo.jp/>

2014 3月号

vol.54



ふだんの
くらしの
しあわせ

愛は色褪せない。

写真は色褪せても、



1992年1月撮影



「この広報誌は、点訳版も発行しています。」

あれから22年... 2014年3月撮影

密着！

まごころ配達人

「配食サービス」

配達ボランティアさん」編



◆配食サービスとは・・・◆

食事を作ることが困難な高齢者の
方々などに、栄養のバランスの取れた
昼食を配達し、併せて安否確認をおこ
なうことによって、住み慣れた地域の

中でいつまでも生活していくことを支
援するサービスです。

◆まごころ配達人◆

お弁当を届けるだけでなく、ご利用
者の安否確認をし、その方の不安や普
段の話に耳を傾け、生活を支えるボラ
ンティアさん。地域の方々に配達のご
協力をいただいております。今回はそ
の中のお二人にお話を伺いました。

《ご協力》

藤田登美代さん・北中秀規さん



午前11時
「藤田さん、今日の配食サービスのお弁当です。
今日も配達、よろしくお願いします！」
藤田さん「はい、行ってきま～す(^^)」

午前11時30分
配達先であるSさん宅に到着！
「Sさん、元気にしてるかなあ・・・？」



◆ボランティアさんの声◆

配食サービスの配達ボランティアを
しているの難しさは？
嬉しかったことは？

●藤田登美代さん（松岡下合月）

ボランティアを始めた当初は、怖い
と思うこともありました。テレビの音
は聞こえているのに反応がない時は、
倒れているのでは!?と心配になりました。
最近、家にいてもいなくても
も、鍵を閉めている家が多いので、本
当に家にいるのかなと判断するのが難
しいですね。それでも、携帯電話を持

藤田さん「Sさん、今日のお弁当ですよ。
調子はいかがですか？」
Sさん「ありがと、お陰様で元気にして
ます。」
この後、和やかに世間話・・・(^^)



っていれば社協の事務所に連絡を取って、ご本人さんと連絡がとれるまで確認するので、安心してボランティアができています。

ご利用者の中には、「話がしたい」という方がおられます。特にひとり暮らしの方だと、話し相手がいらないと思うので、配達時にはできるだけ世間話もするように心がけています。

顔見知りになると、ご利用者の方が遠慮する事なく、接してくださいます。逆に自分（藤田さん）の身体のことを気遣ってくださり、とてもうれしく感じます。



●北中秀規さん（松岡兼定島）

ご利用者様の中には、認知症の方や耳の遠い方がいらっしゃいます。声をかけても出てこれないことや配達サービスがある事を忘れてしまったりすることがあり、「難しいな」と感じることがあります。それでも、このサービスは日常生活における「食」を支えるものであり、同時に安否の確認



をおこなう、という自覚のもとボランティアにあたっています。

お弁当を配達していると、ご利用者の方は話をしたいという思いでおられるのですが、食事の時間までにお弁当を届けなければいけないことからゆっくりと話ができないことがあります。ただ、それでもご利用者の方から話しかけて下さることは嬉しさを感じます。

◆ご利用者様の声◆



《Sさん》

何ともないですか？
お変わりないですか？
と声をかけてくれる。
お弁当を届けてくれるボランティアさんは元気が良く

て、普段のことなど、色々な話を聞いてくれます。身体のことを気にかけてくれて、寒い日も頑張って持ってきてくれて感謝しています。手ごろな価格でちょうどよい量のお弁当で、このまま続けていきたいです。

《Mさん》

お弁当は美味しくて、体調良く過ごせるのでいいです。配達のボランティアさんは、天気の良い日には、「散歩するといいですよ」などとアドバイスしてくださいます。体調も気遣ってくれるので、普通のお弁当とは気分が違います。美味しくいただいております。

《Tさん》

いつもおいしいお弁当を頂いており、ありがたいです。

◆配食サービス、利用してみようかしら……？◆

《利用できる方は？》

永平寺町にお住まいの、食事の調理が困難な方で、おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯の方などが利用できます。

《どうしたら利用できるの？》

給食サービス利用申込書を役場に提出します。申込書は役場、社協に置いてあります。

1週間以内

役場より給食サービス利用決定通知書がご自宅に届きます。

利用決定通知書が届くと同時にサービスを受けることができます。
最寄りの社協にご連絡ください。

●個人負担金は1食300円です。

●昼食のお弁当になります。（11時～12時にお届けいたします。）

●希望する曜日を選択できます。（地区によって曜日が異なります。）

配食サービス実施日

《松岡地区》週2回水・金曜日

《永平寺地区》週2回火・金曜日

《上志比地区》週3回水・水・金曜日

◆配食サービスのボランティアをしてみませんか？◆

ご家庭へお昼のお弁当配達をしてくださるボランティアさんを募集しています。お弁当の調理ボランティアさん（上志比地区のみ）も募集しています（※）

《活動時間》

午前9時から11時頃まで（調理・上志比地区のみ）／午前11時から正午まで（配達）

お問い合わせ

永平寺町社会福祉協議会

本所（上志比） 64-3000

松岡支所 61-0111

永平寺支所 63-3868



東日本大震災

永平寺発 ☆復興支援プロジェクト

忘れないプロジェクト チームメンバー バー急募!

平成23年3月11日、未曾有の大震災、「東日本大震災」が発生し、数

多くの方が被災されました。震災からの復興に向けて暮らしを再建して

いる人たちがいること、今もなお現地で活動をしている人がいること。そして私たち自身がいつでも自然災害の被災者になる可能性があることを「忘れない」ために、復興支援活動を継続的に行っていく、永平寺発 ☆復興支援プロジェクトチームを立ち上げます。

今、被災地から遠く離れた私たちにいったい何ができるのでしょうか？また、被災地は何を求めているのでしょうか？

永平寺発 ☆復興支援プロジェクトチームでは、復興支援活動を具体的に企画立案し、（現地視察あり）少しでも被災地のお役にたてる行動をとっていききたいと思います。

プロジェクトチームメンバー大募集

3月31日（月）まで募集しております。

みなさまのご応募、お待ちしております！

◆お問い合わせ・お申込み◆

永平寺町社会福祉協議会

☎64-3000

4月にプロジェクトチームを結成し、現地への視察ツアーを決行予定！

その後、具体的な支援プランを企画・立案し、活動をスタートさせていきます。



わたしの地元のいいところ「東古市区」編

東古市うららサロン



東古市「うららサロン」の概要

平成15年4月設立。およそ50名の会員数を誇る。区内にお住いの75歳以上の方を対象（ひとり暮らしの方は年齢制限なし）とし、毎月第4土曜日にサロンを開催。

13名のボランティアスタッフにより運営される。

工夫を凝らしたお食事でもてなし

毎月第4土曜日に開催される東古市うららサロンの集い。およそ50名の会員のうち、参加率が7〜8割という、とても活気に溢れたサロンだ。なぜそこまで人が集まるのか？

東古市うららサロン代表の酒井貞子さんにその理由を尋ねてみた。

「サロンに来られる方が最も楽しみにしているのが、お昼のお食事だと思います。ス



東古市うららサロンの酒井貞子さん(右)と伊藤明美さん

タッフが当番制で、毎回工夫を凝らしたお食事を提供しています。昔懐かしい郷土料理などを食べていただくと、参加者の方は非常に喜んでくれるので、作り手も気合が入ります！」

参加者からいただく参加費はお一人500円。決して安い金額ではないが、それだけの価値が、この手作りの食事にはあると自負している。来てくれた人の笑顔のために、手を抜かない、ボランティアアスタッフに共通した想いだ。

地域がサロンを求めつつある

サロンの果たす役割は大きい。地域の閉じこもりがちな高齢者の社会参加を促すきっかけになっている。会計を務める伊藤明美さんは話す。

「サロンに参加されている方に道で会うと、この前のサロンは楽しかったよ、次はいつあるの？と声をかけてくださいます。そういった方々の喜ぶ顔を見ることが私たちのやりがいにつながっていますね。もういやな事も忘れちゃうくらい(笑)」

定例のサロンのみならず、文化祭への出品、地元のイベントへの参加・協力など、さまざまな形で地域社会へ貢献している東古市うららサロン。ただし課題もある。

「以前は男性の方の参加もありましたが、今は女性だけになってしまった。家にいらっしやる男性もきつと多いはず。どうしたら参加



サロンでのレクリエーションの様子

してもらえるか。」

サロンを通じて、地域の老若男女が交流する。理想に向けて試行錯誤の日々が続く。

高いボランティア意識

現在、サロンの運営スタッフは13名。すべてボランティアだ。地域のボランティア意識の高さについて、代表の酒井さんはこう話す。

「東古市では、みずからサロンの運営スタッフになりたい！という人がとても多いのが特徴です。ある地区では、運営スタッフが足りない、人材確保が難しいという声を聞きますが、私たちの地区では、自発的にボランティアをしたいという積極的な想いをお持ちの方によく出会います。それだけ、サロンが地域にとって魅力的なものとして映っているのだと思います。」

多様な「人財」に恵まれている東古市うららサロン。今日も地域の人の笑顔を咲かせるために全力投球だ！



最後のカット-忘れられない思い出-

松岡春日の住宅地に佇む“まちの床屋さん”、「理容室 おけたに」。

取材にお伺いすると、気さくな笑顔で迎えてくれたのが、
ご主人の桶谷恵悟さん（55）。

まちの床屋さん一筋 30 年・・・。

理容師として歩んできたこれまでに、
語っていただきました。



床屋さんに行きたくても、
行けない・・・。

「理容室おけたに」には、さまざまなお客様が来られる。通常の散髪をお願いされることもあれば、顔剃りを楽しみに来られたり、髪染めをご希望の方などが来店される。これだけを聞くと、いわゆる「ふつう」の床屋さんだ。しかし、「おけたに」では、お客様の実情を考慮し、あるサービスを開始した。それが送迎サービスだ。

「お客様の中には、高齢の方が多し。昔はふつうに通えていたお客様でも、高齢にともない散髪に行きたくても行けない方がいらつしやる。であれば、送迎してあげようと思ったんです

最後のカット・・・

ね。」桶谷さんはこうも言う。
「元氣な時に通ってきてくれた、その恩返しをしたい。」

「おけたに」では「出張サービス」も行なっているという。来店が困難な方
の家にお伺いし散髪をおこなうという
ものだ。ご主人はあるエピソードを
語ってくれた。

「あるお客様が亡くなられた時に、
そのご家族からひとつのお願いがあり
ました。それは、おしゃれな姿で
天国に旅立つてほしい。髪を整えて
もらえないだろうか」というもので
した。確かに亡くなられた方のご遺
体は、髪の毛がだいぶ伸びていまし
たので、私も「最後だ」と思
い、その髪にはさみを入れさ
せていただきました。あの時
のことはとても印象に残って
いますね・・・。」

きれいな姿で旅立つてほし
い。まちの床屋さんにはここ
ろ温まる人知れぬ物語があっ
た。

地域への貢献

「ここが地域の人の憩いの場にな
ってくれたらいいなと思いま
す。コーヒを飲みに来てくれ
るだけでも大歓迎です。」

理容室 おけたに

～嬉しいサービス～

- ★女性限定 通常2,300円の「顔剃り」サービスを**1,000円**でご提供！
- ★市販の髪染めをお持ちいただいた方に、**特別価格1,000円**で髪染めサービス！
- ★ご来店が困難な方には、**送迎サービス**を行ないます。

理容室 おけたに

永平寺町松岡春日2-99

☎0120-61-2263

《営業時間》

8:00～19:00（予約可）

《定休日》

- 毎週月曜日
- 第1月曜日・火曜日
- 第3日曜日・月曜日

交流の場づくりを、おもてなしの心で目指す。また、桶谷さんが長年続けていることがある。それは本の寄贈だ。

「デイサービスセンターに週刊誌や月刊誌の寄附を10年以上続けています。利用者のみなさんが喜んでくれるといいなと思って。」

自分のできる範囲で、お客様はもちろん、地域のために役立ちたい。一軒の小さな床屋さんさんは、これからも「憩いの場」として地域に根ざしていくだろう。



B o r n e i n g

今回ご紹介するボランティアグループは「B・メイト」のみなさんです。



手作りの紙芝居を手に笑顔をみせる「B-メイト」のみなさん

「B・メイト」って このようなグループです(^^)

本をこよなく愛する人たちが集い、民話紙芝居の作成・口演をはじめ、図書館業務への協力や本のリサイクル市の開催といった活動を通して、本の楽しさや大切さをPRしています。

B・メイトの「B」にはさまざまな意味が込められています。

Book (本)、Be (存在する)、Being (～している)、Begin



(始める)、Born

(生まれる) …

現在は10名のメンバー

で活動しています。

手作りの民話紙芝居

私たちの住む永平寺町には、昔から伝わる民話が数多く存在しています。

これらの民話をもとに、紙芝居、を作成し、幼稚園や小学校、老人福祉施設等に出向いての口演活動をボランティアでおこなっています。

毎週金曜日に、永平寺町立図書館（松岡）に集まり、分担して紙芝居を作成。もともとの民話の内容を崩さないようにメンバーで話し合いながら、一話の紙芝居を仕上げていきます。

後世に残る活動を展開

小学校の史跡めぐりの授業で、民話紙芝居を活用していただいたことがあります。また、さまざまな場所での紙芝居披露を通して、私たちの手作りの紙芝居が役に立っているということや、自分たちの活動を知ってもらっていることに喜びを感じています。

また、昨年、町や地元の人たちの協力

連絡先
永平寺町ボランティアセンター
(社協内)

☎64-3000

のおかげで、町内の民話発祥の地に、私たちが描いた紙芝居の一面と民話を掲載した看板を5箇所設置していただきました。後世に残る活動ができていますが、この上ない私たちの励みになっています。

地元の歴史を知るきっかけに

私たちが作成した紙芝居は図書館で貸し出しをしていますので、気軽に手に取って見ていただきたいと思います。そして、自分たちの地域の民話を知っていただくきっかけになってくれればいいなと思っています。そのためには、私たちは自己研鑽しながら、作り手、話し手としての技術を高めていかなければと思っています。

ボランティアセンターに口演の依頼をしていただければ伺わせていただきますので、お気軽にお問い合わせくださいね！



紙芝居を町に寄贈した
(3月7日、永平寺町立図書館（松岡）にて)



地元の民話を掲載した看板
(永平寺町石上の八幡神社)

民話紹介

いわながひめ

岩長比咩 (永平寺町石上)

石上の堂所^{どうじこ}に岩長比咩^{いわながひめ}という「石の神さん」が北向きに祭られていた。

ところが、その前を通ると、村の若者のたごけの縄が切れ、福井へ行く勝山の殿さんは馬から落ちてしまう。中館^{なかだち}に社を作って神さんを祭ったが変わらなかつた。怒った殿さんは、「どこかにやつてしまえ」と命じた。そこで村人は神さんを九頭竜川に流した。

その神さんは、熊堂^{くまどう}の村まで流れ、熊堂の村人は立派な社を作り祭った。その村は栄えた。

一方、石上は貧乏が続いたので、神さんを川に流したせいということになり、神さんを返してほしいと頼み、台座だけ返してもらった。



お気軽にご相談ください

生活福祉資金

生活福祉資金とは、低所得者、障がい者または高齢者に対し、必要な資金の貸付を行って、経済的自立や安定した生活が送れるようにすることを目的とした貸付事業のことです。

Q&A 生活福祉資金の種類は？

総合支援資金

失業等により、収入が減少し、相談支援と生活費の貸付を行うことで、自立が見込まれる世帯にお貸しするものです。



福祉資金

福祉費

生業を営むためや技能習得に必要な経費、福祉用具等の購入や住宅改修等の経費、冠婚葬祭に必要な経費、また日常生活上、一時的に必要な経費等をお貸しするものです。



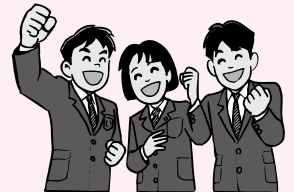
緊急小口資金

緊急的かつ一時的に世帯の生計維持が困難となる場合にお貸しするものです。



教育支援資金

高校、大学、短大、専門学校への就学に際し、入学金・制服等の経費、授業料・通学定期代等の就学経費をお貸しするものです。



不動産担保型生活資金



今おすまいの居住用不動産を担保に生活費をお貸しするものです。



Q&A 生活福祉資金を申請できる方は？

1. 65 歳以上の高齢者の属する世帯（日常生活上療養または介護を要する高齢者）
2. 必要な資金を他から借りることが困難な低所得の世帯
3. 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者の属する世帯
4. 生活再建の取り組みをし、自立した生活を送る見込みがある世帯
5. 世帯の生計中心者。ただし、教育支援資金は学校へ通う本人が申請
6. 社会福祉協議会や民生委員と関わりを持つことができる方
7. 暴力団、または暴力団関係者ではない、または家族にもいないこと

Q&A 申請すれば必ず貸付を受けられますか？

審査の上で貸付が決定されます。申請すれば必ず貸付されるものではないことをご了承ください。また、貸付の決定金額は、審査後に減額されることもあります。

借入相談・お申込み・お問い合わせ

永平寺町社会福祉協議会または地域の民生委員にご相談ください！

本所 64-3000 / 松岡支所 61-0111 / 永平寺支所 63-3868



感動のビッグウェーブを巻き起こせ!

ふれ愛フェスタ 2014

開催日決定!

とき
2014 6/8 (日)

会場 永平寺町農村公園、
上志比文化会館サンサンホール



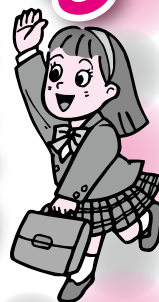
ボランティアさん ステージ出演者 大募集!!

フェスタ開催までの準備、当日の運営など一緒にフェスタを盛り上げてくださるボランティアさんを募集します。同時にステージ出演をご希望の方も奮ってご応募ください。

感動を多くの方々と分かち合いましょう!

お気軽に
永平寺町社協事務局まで
お問い合わせください。
☎64-3000

こころ溢まる 1分間の ちよつと いい話



1月8日(水)、老人センターで、わくわく一座の公演が行われた日の夕方、定刻どおり北地区(栃原・浄法寺等)行きのコミュニティバスが老人センターに到着。この日は公演の影響もあり、普段の倍近くの人々が乗車しようとしていました。

バスの後部座席に座っていた永平寺中学校の女子生徒2名は、その光景を見て席を譲り、立ち席にまわりました。さらにぞくぞくと乗り込んでくるお年寄りを見て、すばやく下車し全ての方が乗り込むのを見届けてから、入口近くの狭いスペースに乗り込むと待っていました。ところが、見届けた後のバスを見ると、自分たちの乗るスペースはもはやありません。

そこで女子生徒2名は、無理して乗り込むと他の人がもっと窮屈になると思い、嫌な顔ひとつせず「私たちは歩いて帰りますから、どうぞ発車してください」と笑顔で雨の中を歩いて帰っていききました。

北地区のコミュニティバスに乗車する永平寺中学校の生徒の間では、以前から「老人センターで乗車される方には席を譲る」という行為が、自然と日常的に行われているそうです。素敵なことですね。



弁護士による無料法律相談 13:00～16:00

法律問題でお悩みの方を対象に、弁護士による無料法律相談を行っています。1日8名の方まで相談を受け付けております。※事前に電話予約が必要となります。

3月27日(木) 永平寺町やすらぎの郷
担当弁護士：今井 康人 氏

4月24日(木) 松岡福祉総合センター「翠荘」
担当弁護士：岩本 雄太 氏

5月22日(木) 永平寺老人福祉センター「永寿苑」
担当弁護士：岩佐 裕美 氏

たとえば…

- ◆遺言・相続について……
- ◆消費者トラブルについて……
- ◆結婚・離婚について……
- ◆近隣とのトラブルについて…
- ◆財産管理について……など、お気軽にご相談ください。



福祉総合相談 13:30～16:00

4月3日(木) 松岡福祉総合センター「翠荘」
相談員：民生委員児童委員(松岡支部)

4月10日(木) 永平寺老人福祉センター「永寿苑」
相談員：民生委員児童委員(永平寺支部)

4月17日(木) 永平寺町やすらぎの郷
相談員：民生委員児童委員(上志比支部)

専門カウンセラーによる子育て相談 13:30～16:30

カウンセラー：富田 純子氏

4月7日(月) 松岡福祉総合センター「翠荘」

5月12日(月) 永平寺老人福祉センター「永寿苑」

6月9日(月) 永平寺町やすらぎの郷

※1件あたりの相談時間は50分程度です。
※事前に電話予約が必要となります。

寄附御礼

平成26年2月 1日～2月28日

次の皆様から、社会福祉のためにたくさんの「まごころ」が寄せられました。深くお礼申し上げます。皆様からいただいた寄付金・寄贈品

は、寄付されました方の希望される用途を尊重させていただきまするとともに、社会福祉のため有効に活用させていただきます。

	受領日	氏 名	(住 所)	金額(品名)	受入区分
寄付金	2月14日	匿名 様	匿住所	¥4,600	松岡デイサービス事業
	2月24日	上志比地区壮年集団連絡協議会 様		¥9,945	地域福祉活動事業
物品	2月10日	匿名 様	匿住所	紙オムツ多数	上志比デイサービス事業
	2月17日	勝見五代子 様	松岡上合月	タオル多数	松岡デイサービス事業

編集後記

11ページに案内させていただいている「社会福祉大会」。今年度までは「ふれ愛フェスタ」と併催という形で開催させていただいていましたが、26年度からは単独での開催とさせていただく運びとなりました。

さて、本大会での記念講演の講師として腰塚勇人さんをお招きします。実は、この腰塚さん、平成23年12月号発行のほほえみの編集後記で、ご自身の素敵な言葉とともに紹介させていただいたことがあります。再度、その腰塚さんの素敵な言葉をお届けします。

『命の授業』5つの誓い

「口」は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう。

「耳」は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。

「目」は、人のよいところを見るために使おう。

「手足」は、人を助けるために使おう。

「心」は、人の痛みがわかるために使おう。

—腰塚勇人—

この言葉は、「一生、寝たきり」と宣告され、自殺未遂までした中学校の教師だった腰塚さんが、家族や生徒の応援と、感謝の心により、復活を遂げたあとに心に誓った言葉です。

この『命の授業』と題した講演を通して、命の大切さ、生きていることの素晴らしさ、たすけあいの大切さなどを、感動の中で改めて教えていただけたと思います。

「忘れかけている大切な幸せ」に気付かせていただき、あなたの夢をひろげてみませんか。多くの方の会場を心よりお待ちしております(ハ)

光YUJー



本 所

〒910-1313
永平寺町石上27-27(永平寺町やすらぎの郷内)

☎ 64-3000 FAX 64-3103

永平寺支所

〒910-1217
永平寺町飯島6-34(永平寺老人福祉センター内)

☎ 63-3868 FAX 63-3869

松岡支所

〒910-1127
永平寺町松岡吉野塚15-44(松岡福祉総合センター内)

☎ 61-0111 FAX 61-1797

★ほほえみ2月号クロスワードの答え★

② ふ	<	① し	い	い	ん
① し	ん	め	い		⑥ し
⑤ や		③ き	ぼ	⑦ う	④ よ
④ し	あ	わ	せ	な	う
ん	き	ん	え	⑤ ぎ	ゆ

① し	② や	③ き	④ よ	⑤ う
--------	--------	--------	--------	--------

★肉焼 伸 デイナーお食事券当選者★

武澤 泰則様、谷口 直子様、門田 妙子様
当選おめでとうございます!

※皆様のご応募ありがとうございました。

急募! 看護員
介護員

職種/看護員・介護員

内容/デイサービスでの看護、介護

採用/若干名

形態/非常勤職員

資格/普通自動車運転免許

※勤務地、就業時間、
賃金等については
応相談



お問い合わせは

社会福祉法人 永平寺町社会福祉協議会

☎64-3000

平成26年度

永平寺町社会福祉大会

4.13

(日曜日)

13時開会

上志比文化会館サンサンホール

●第1部●

13時00分～13時45分

式典・社会福祉功労表彰・感謝状授与

14時00分～15時30分

記念講演 腰塚 勇人氏「命の授業」

●第2部●

15時50分～17時00分

交流会

※参加費500円

(事前のお申し込みが必要です。
お電話もしくはホームページより
お申し込みください。)

参加者同士の
「つながり」を
目的とした交流会を
企画しています。

主催:永平寺町社会福祉協議会、永平寺町共同募金委員会

後援:永平寺町、福井新聞社

お問い合わせ・
参加お申し込みは

社会福祉法人 永平寺町社会福祉協議会

☎0776-64-3000

<http://www.eiheijishakyo.jp/>

平成26年度 永平寺町社会福祉大会

— 今の幸せに気づくことから夢はひろがる —

4月13日 (日曜日) 13時開会

上志比文化会館サンサンホール
(詳細はHPをご覧ください)

Hayato Koshizuka

腰塚 勇 人

命の授業

フジテレビ系列
奇跡体験
アンビリバボー
に出演!!

フジテレビ系
テレビお多屋
に出演!!



『命の授業』
ダイヤモンド社



『感謝の授業』
PHP 研究所

2002年3月、スキー事故で首の骨を折り、一瞬にして首から下が全く動かない状態に。
この事故が私の人生を大きく変えたのです。

私は、中学校でバスケットボール部の顧問をはじめとして、生徒たちの教育・指導に一生懸命打ち込む「熱血教師」でした。

そんな私に、ある日、人生を大きく変える出来事が起こります。

2002年、スキー中に大転倒、頸椎（首の骨）骨折という大ケガをしました。4時間の手術の末、奇跡的に一命はとりとめたものの、全身が動かないという深刻な麻痺状態となり、あまりの絶望に、私の心は深く沈みました。

そんな私を救ってくれたのは、妻や両親、同僚の先生や生徒、病院のお医者さんや看護師さん、そして周りの人たちでした。そうした人たちの応援と励ましを受けて、私の心も再び動き始めます。

入院生活やリハビリでは、紆余曲折を経ながら、自分の命があらゆるものに「助けられ、生かされている」ことに気づきました。

その気づきをきっかけとして、奇跡的にも回復に向かい、4カ月の入院・リハビリの後、職場復帰を果たすことができたのです。

この間、私の見方・考え方・感じ方は大きく変わりました。そして、人生も一変しました。復帰後は、障がいのある子どもたちと向き合い、自らも体の一部に麻痺が残るという障がいを抱えながら、感謝と共に生きようになりました。

手術・入院・リハビリ・復帰後と、一つひとつのプロセスを経ながら、自分を受け止め、受け入れ、歩みを進め、そして、「ありがとう」の日々へ。

現在は教員を卒業し、命の大切さ・生きていることの素晴らしさ・両親・家族・仲間の大切さなど、普段の生活の中で当たり前と感じ、忘れかけている大切な幸せについて、また、皆様が「誰かの何かを照らす存在である」ことを、講演や著書を通じてお伝えしていきたいと思っています。

腰塚 勇 人